



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月7日

上場会社名 日本化学産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4094 URL <http://www.nihonkagakusangyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤英二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 百瀬 譲

TEL 03-3873-9223

四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	6,152	19.2	789	25.8	851	26.0	591	22.5
30年3月期第1四半期	5,163	10.3	627	10.4	675	12.0	482	16.2

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 520百万円 (38.6%) 30年3月期第1四半期 846百万円 (32.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	29.51	
30年3月期第1四半期	24.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	42,098	34,559	82.1	1,724.37
30年3月期	41,031	34,300	83.6	1,711.43

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 34,559百万円 30年3月期 34,300百万円

「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		12.00		13.00	25.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		14.00		14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,060	17.3	1,310	12.3	1,390	13.5	1,150	32.7	57.38
通期	24,690	11.5	2,920	9.0	3,080	9.4	2,350	19.7	117.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	20,680,000 株	30年3月期	20,680,000 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	638,328 株	30年3月期	638,253 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	20,041,736 株	30年3月期1Q	19,757,067 株

(注)「日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(役員向け株式交付信託)」所有の当社株式42,000株は、平成31年3月期第1四半期決算の期末自己株式数に含まれており、期中平均株式数から除いております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1.経営成績等の概況(3)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 今後の見通し	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(平成30年4月1日～平成30年6月30日)におけるわが国経済は、輸出や設備投資、個人消費等において年初の停滞から持ち直しの兆しを見せてはいるものの、米国政権による保護貿易主義の高まりから中国、EU諸国との貿易摩擦が顕在化し予断を許さない状況が続くとともに、国内においても人手不足の深刻化やそれを起因とする人件費の増加による企業収益への圧迫も懸念される等、景気の先行きについての不透明感を払拭できないまま推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、薬品・建材事業ともに新製品や新規用途開発品を中心とした販売・生産数量の確保・拡大および新規ユーザー開拓等に加え、生産拠点や生産工程の最適化等、価格競争力を増すための更なる低コスト体質強化に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高は、前年同四半期比98.9%増の6,152百万円、営業利益は前年同四半期比161.2%増の789百万円、経常利益は前年同四半期比175.0%増の851百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比108.5%増の591百万円となりました。

なお、海外(タイ)子会社のネクサス・エレケミック社は、清算に向けて法的な手続きを進めておりましたが当期中には清算が完了する見込みとなりました。清算による連結業績への影響は軽微なものと考えております。

セグメントの業績は、次のとおりとなります。

[薬品事業]

主力の薬品事業は、国内においては、納入先の複数購買化、生産拠点の海外シフト、価格競争の激化等の厳しい事業環境が継続するなか、国内においては二次電池用正極材受託加工の月産600トン体制確立とその安定供給および主要原料である非鉄金属の市場価格の上昇に伴う売価アップ、海外(タイ)子会社においては、サイアム・エヌケーエス社の主力製品の売上回復等により、売上高は前年同四半期比97.3%増の5,340百万円となりました。

利益面では、国内においては、前述の受託加工の安定供給を主因に増益となり、海外(タイ)子会社においては、サイアム・エヌケーエス社の製品群全般の販売数量増加等による採算性向上で利益水準が改善したことにより、営業利益は前年同四半期比166.1%増の718百万円となりました。

[建材事業]

建材事業は、業績に大きく影響を及ぼす新設住宅着工戸数が本格的な回復までには至らず、主力製品である防火通気見切り縁が全般的には伸び悩んだものの、一部納入先向けが増加したことにより、売上高は前年同四半期比15.2%増の812百万円、営業利益も前年同四半期比13.1%増の227百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、売上債権、たな卸資産、現金及び預金が増加したことにより、前連結会計年度末比1,120百万円増の24,699百万円となりました。一方、既存設備の減価償却が進んだことにより有形固定資産が前連結会計年度末比29百万円減の6,914百万円となり、投資その他の資産も投資有価証券で一部の保有株式の株価が下落したことにより前連結会計年度末比46百万円減の10,395百万円となったことから固定資産は、前連結会計年度末比53百万円減の17,398百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ1,066百万円増の42,098百万円となりました。一方、流動負債が販売数量増に伴うたな卸資産が増えたことによる仕入債務の増加および短期借入金が増加したことにより前連結会計年度末比833百万円増の6,037百万円となり、固定負債は前連結会計年度末比25百万円減の1,501百万円となったことにより、負債合計では前連結会計年度末比807百万円増の7,539百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末比259百万円増の34,559百万円となり、その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の83.6%から82.1%となりました。

(3) 今後の見通し

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、現在までのところ概ね当初予想の範囲内で推移していることから、第2四半期連結累計期間・通期ともに平成30年5月11日公表の予想から変更いたしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,136,609	12,738,830
受取手形及び売掛金	7,656,102	7,769,876
商品及び製品	1,119,102	1,297,287
仕掛品	1,200,595	1,301,852
原材料及び貯蔵品	1,384,777	1,487,333
その他	84,580	106,630
貸倒引当金	△2,190	△1,990
流動資産合計	23,579,577	24,699,821
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	2,458,173	2,396,713
その他(純額)	4,485,932	4,517,583
有形固定資産合計	6,944,106	6,914,296
無形固定資産		
	66,210	88,755
投資その他の資産		
投資有価証券	7,005,029	6,944,654
繰延税金資産	2,942	1,313
その他	3,435,631	3,451,475
貸倒引当金	△1,570	△1,570
投資その他の資産合計	10,442,033	10,395,873
固定資産合計	17,452,349	17,398,925
資産合計	41,031,927	42,098,746
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,985,755	3,325,223
短期借入金	441,000	848,800
未払法人税等	480,414	261,117
賞与引当金	400,000	217,450
役員賞与引当金	35,000	10,000
その他	862,236	1,375,078
流動負債合計	5,204,407	6,037,669
固定負債		
繰延税金負債	1,015,439	999,393
環境対策引当金	9,532	9,532
退職給付に係る負債	300,138	300,910
役員株式給付引当金	24,571	16,453
資産除去債務	124,762	125,461
その他	52,933	50,167
固定負債合計	1,527,377	1,501,917
負債合計	6,731,784	7,539,587

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,000	1,034,000
資本剰余金	1,029,965	1,029,965
利益剰余金	29,894,469	30,224,759
自己株式	△378,264	△378,374
株主資本合計	31,580,170	31,910,350
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,406,694	2,364,962
為替換算調整勘定	353,414	318,533
退職給付に係る調整累計額	△40,136	△34,686
その他の包括利益累計額合計	2,719,972	2,648,809
純資産合計	34,300,143	34,559,159
負債純資産合計	41,031,927	42,098,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	5,163,302	6,152,381
売上原価	3,871,743	4,680,085
売上総利益	1,291,559	1,472,295
販売費及び一般管理費	663,771	682,759
営業利益	627,787	789,536
営業外収益		
受取利息	3,237	3,358
受取配当金	40,004	59,837
不動産賃貸料	15,645	18,114
その他	9,427	7,296
営業外収益合計	68,316	88,606
営業外費用		
支払利息	2,155	2,350
売上割引	2,016	2,623
賃貸収入原価	7,230	10,757
為替差損	8,762	9,564
その他	0	1,340
営業外費用合計	20,165	26,636
経常利益	675,938	851,506
特別利益		
固定資産売却益	8,798	92
特別利益合計	8,798	92
特別損失		
固定資産除却損	1,912	17,188
特別損失合計	1,912	17,188
税金等調整前四半期純利益	682,824	834,410
法人税等	200,229	243,032
四半期純利益	482,595	591,377
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	482,595	591,377

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	482,595	591,377
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	348,715	△41,731
為替換算調整勘定	10,453	△34,880
退職給付に係る調整額	4,989	5,449
その他の包括利益合計	364,158	△71,163
四半期包括利益	846,754	520,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	846,754	520,214
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,366,995	796,306	5,163,302	—	5,163,302
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,366,995	796,306	5,163,302	—	5,163,302
セグメント利益	552,447	214,730	767,177	△139,389	627,787

(注) 1. セグメント利益の調整額△139,389千円は各セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,340,161	812,219	6,152,381	—	6,152,381
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,340,161	812,219	6,152,381	—	6,152,381
セグメント利益	718,548	227,764	946,312	△156,776	789,536

(注) 1. セグメント利益の調整額△156,776千円は各セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。